

LED駆動用回路①

外部接続により光量を設定できるLED駆動用回路！

RT8H034C

※仕様の詳細につきましては、データシートを参照ください。
https://www.idc-com.co.jp/pdf/jp/product/RT8H034C_J.pdf

□概要

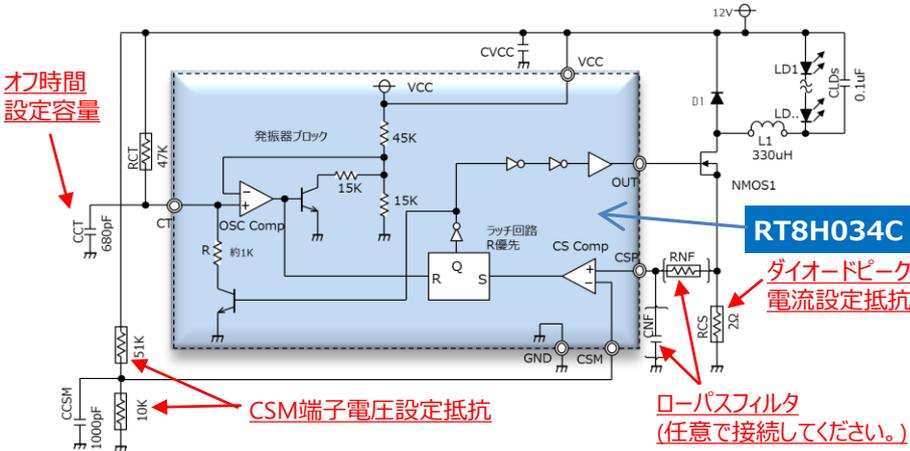
本製品はLEDの駆動に適しており、LEDの光量を設定することが可能です。GND側に接続された抵抗RCSによる電圧上昇分をCSP端子により検出し、CSM端子電圧に印加する電圧とCSP端子電圧を比較することで、LEDに流れる電流を調整できます。

また、CT端子に外部接続する抵抗と容量で、オフ時間の設定が可能となります。

□用途

- LED駆動回路

□内部等価回路・応用回路図

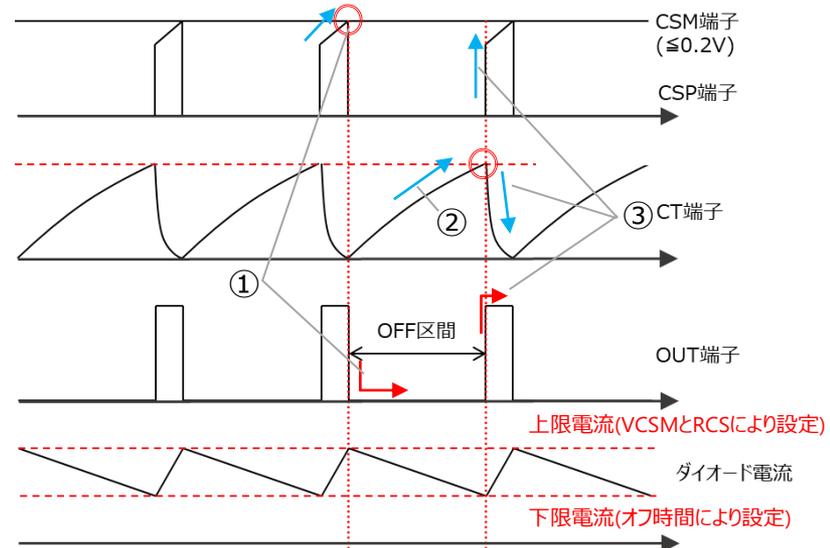


□特長

- CSM端子電圧で検出する電圧を調整可能。
- CT端子に容量・抵抗を外部接続でオフ時間の設定が可能
- パッケージ(SC-74)

□タイミングチャート

(左記応用回路図に基づくタイミングチャートとなります)



- ①CSP電圧がCSM電圧(≤0.2V)を超えた時、OUT電圧がLOWになります。
- ②OUT電圧がLOWになると共にCT端子の電圧が上昇します。
- ③CT端子電圧が閾値(約3V)を超えた時、OUT電圧がHIGHになり、CT電圧が下降してCSP電圧が上昇します。
(以降①→②→③の繰り返し)